



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
コード番号 4558 URL <https://chukyoiyakuhin.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,172	2.0	18	△67.5	24	△63.2	△1	—
2024年3月期中間期	3,109	10.3	58	207.6	66	138.0	△57	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△0.18	—
2024年3月期中間期	△5.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,316	2,494	46.9
2024年3月期	5,082	2,522	49.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 2,494百万円 2024年3月期 2,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2025年3月期	—	2.50	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	1.2	140	9.3	160	8.8	55	—	5.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	11,660,734株	2024年3月期	11,660,734株
2025年3月期中間期	1,003,567株	2024年3月期	1,013,529株
2025年3月期中間期	10,651,702株	2024年3月期中間期	10,639,060株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、社会経済活動の正常化が進み、抑えられていた消費や投資が回復基調となり景気の持ち直しが見られました。他方、長期化するウクライナ情勢や中東情勢の悪化、世界的なインフレ急拡大とそれに伴う各国中央銀行の金融引き締め政策や為替変動による世界経済の下振れ懸念があります。国内においては、雇用や所得環境が改善し、緩やかに回復していますが、円安基調の継続や物価上昇などにより消費者の購買意欲が低調に推移するなど、景気の先行きは依然として予断を許さない状況が続いています。

当業界におきましても、個人消費の回復傾向は見られたものの、原材料の高騰や円安、仕入・物流コストの増加や人手不足と賃金コストの上昇など、新たなリスクの顕在化による経営環境への懸念要因が続き、厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品開発や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当中間会計期間における売上高は3,172百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は18百万円（前年同期比67.5%減）、経常利益は24百万円（前年同期比63.2%減）、中間純損失は法人税等調整額（損）18百万円を計上したため1百万円（前年同期は中間純損失57百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）

小売部門においては、仕入・原料コスト等の増加に対応すべく販売価格等の改定を実施し、利益率の改善に努めました。また事業基盤の強化として配置薬などの委託販売を推進することにより、安定した収益基盤の確立や新たな顧客への販売と継続的な販売に取り組みました。尚、多様化する社会にあったトータルライフ・ケアの推進の為に商品開発やリニューアルを実施しました。特に「Hi DHAトゥディ75」や「濃縮野菜ジュース」、「新・鮮度管理」などが多くのお客さまから好評を博しました。しかしながら、売上高やセグメント利益においては、一人当たりの生産性は向上したものの、営業人員の不足により減少となりました。

今後は積極的な採用活動と共にお客さまとのふれあいの強みを活かして更なる新しいサービスや価値創造に注力してまいります。

卸売部門においては、他企業のストアPB（プライベートブランド）の拡大に努めました。更に、猛暑により夏季商品の継続的な販売、熱中症対策商品や防災・備蓄対策商品等におけるペットボトル飲料の需要も高まり、販売に注力してまいりました。EC事業（インターネット通信販売事業）につきましても強化し、安定的な収益基盤の構築を図りました。

その結果、売上高は2,793百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント損失は40百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

②売水事業部門

売水事業部門においては、気温の上昇に伴い飲料水（12Lボトル）の売上は堅調に推移しました。近年、防災対策としての水の備蓄や熱中症対策として、ミネラルウォーター宅配市場の必要性が高まっており、中核事業の1つとして確立することを目標としております。また水関連商品等のサイドメニューのラインアップも増やし、お客さまへの利用促進を図りました。更に市場拡大しつつある浄水型サーバーも取り入れ、新たな市場へのチャレンジも行いました。

その結果、売上高は379百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は59百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は3,100百万円となり、前事業年度末に比べ289百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加156百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加109百万円によるものであります。固定資産は2,215百万円となり、前事業年度末に比べ55百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少26百万円によるものであります。

この結果、総資産合計は、5,316百万円となり、前事業年度末に比べ233百万円増加いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は2,112百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務の減少60百万円によるものであります。固定負債は710百万円となり、前事業年度末に比べ276百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加275百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,822百万円となり、前事業年度末に比べ262百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は2,494百万円となり、前事業年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少29百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.9%（前事業年度末は49.6%）、1株当たり純資産額は234.04円（前事業年度末は236.95円）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2024年3月期 決算短信」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,107,433	1,264,418
受取手形、売掛金及び契約資産	533,353	643,084
電子記録債権	7,371	46,487
商品及び製品	541,218	538,295
委託商品	454,850	451,557
仕掛品	88	78
原材料及び貯蔵品	32,433	31,008
その他	141,288	133,716
貸倒引当金	△6,285	△7,726
流動資産合計	2,811,752	3,100,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	444,605	428,338
土地	1,198,806	1,198,806
その他（純額）	14,053	23,212
有形固定資産合計	1,657,466	1,650,357
無形固定資産		
投資その他の資産	168,734	142,339
前払年金費用	91,597	91,866
その他	353,413	331,513
貸倒引当金	△180	△243
投資その他の資産合計	444,830	423,136
固定資産合計	2,271,031	2,215,833
資産合計	5,082,784	5,316,753
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,984	317,562
電子記録債務	128,237	67,854
短期借入金	970,000	1,090,000
1年内返済予定の長期借入金	153,359	165,037
未払法人税等	46,281	18,671
賞与引当金	149,970	130,190
その他	436,861	322,891
流動負債合計	2,125,693	2,112,207
固定負債		
長期借入金	34,454	310,210
退職給付引当金	156,794	160,782
株式給付引当金	42,373	44,167
資産除去債務	2,580	—
長期未払金	178,120	178,120
その他	19,934	17,049
固定負債合計	434,256	710,328
負債合計	2,559,950	2,822,535

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	528,298	527,622
利益剰余金	1,586,660	1,557,629
自己株式	△300,276	△297,337
株主資本合計	2,495,694	2,468,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,139	25,290
評価・換算差額等合計	27,139	25,290
純資産合計	2,522,834	2,494,217
負債純資産合計	5,082,784	5,316,753

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	3,109,647	3,172,892
売上原価	1,273,357	1,389,884
売上総利益	1,836,290	1,783,008
販売費及び一般管理費	1,778,158	1,764,106
営業利益	58,132	18,902
営業外収益		
受取利息	10	64
受取配当金	629	785
受取家賃	8,260	7,429
その他	1,881	1,030
営業外収益合計	10,781	9,310
営業外費用		
支払利息	2,047	3,611
その他	0	0
営業外費用合計	2,048	3,611
経常利益	66,865	24,601
特別利益		
固定資産売却益	—	301
特別利益合計	—	301
特別損失		
商品評価損	122,232	—
固定資産除売却損	—	2,662
特別損失合計	122,232	2,662
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	△55,367	22,240
法人税、住民税及び事業税	24,149	5,272
法人税等調整額	△21,580	18,852
法人税等合計	2,569	24,125
中間純損失（△）	△57,936	△1,884

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	△55,367	22,240
減価償却費	26,778	27,032
のれん償却額	21,319	21,319
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,388	1,504
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,275	3,987
株式給付引当金の増減額（△は減少）	2,205	1,793
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,840	△19,780
受取利息及び受取配当金	△640	△850
支払利息	2,047	3,611
商品評価損	122,232	—
固定資産売却損益（△は益）	—	2,662
売上債権の増減額（△は増加）	△27,627	△148,847
棚卸資産の増減額（△は増加）	△47,812	7,651
仕入債務の増減額（△は減少）	30,449	16,195
未払費用の増減額（△は減少）	15,127	△35,569
その他	18,956	△70,446
小計	113,398	△167,495
利息及び配当金の受取額	640	850
利息の支払額	△2,047	△3,611
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△33,584	△32,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,406	△203,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△20,001
定期預金の払戻による収入	—	20,001
有形固定資産の取得による支出	△8,003	△13,600
有形固定資産の売却による収入	—	1,328
無形固定資産の取得による支出	△2,420	—
保険積立金の積立による支出	△557	—
貸付金の回収による収入	300	300
その他	1,443	964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,238	△11,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	210,000	120,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△100,008	△112,566
リース債務の返済による支出	△7,705	△9,102
配当金の支払額	△28,449	△27,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	73,836	371,057
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	143,004	156,985
現金及び現金同等物の期首残高	944,896	949,434
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,087,900	1,106,420

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	1,398,808	817,758	370,522	2,587,089	1,018	2,588,107	—	2,588,107
配置販売	521,540	—	—	521,540	—	521,540	—	521,540
顧客との契約 から生じる収益	1,920,348	817,758	370,522	3,108,629	1,018	3,109,647	—	3,109,647
外部顧客への 売上高	1,920,348	817,758	370,522	3,108,629	1,018	3,109,647	—	3,109,647
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,177	4,177	—	4,177	△4,177	—
計	1,920,348	817,758	374,700	3,112,807	1,018	3,113,825	△4,177	3,109,647
セグメント利益又は 損失 (△)	△11,334	13,756	55,709	58,132	—	58,132	—	58,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	1,353,113	978,713	378,166	2,709,992	828	2,710,821	—	2,710,821
配置販売	462,071	—	—	462,071	—	462,071	—	462,071
顧客との契約 から生じる収益	1,815,184	978,713	378,166	3,172,064	828	3,172,892	—	3,172,892
外部顧客への 売上高	1,815,184	978,713	378,166	3,172,064	828	3,172,892	—	3,172,892
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	1,538	1,538	—	1,538	△1,538	—
計	1,815,184	978,713	379,704	3,173,602	828	3,174,431	△1,538	3,172,892
セグメント利益又は 損失（△）	△61,855	21,382	59,375	18,902	—	18,902	—	18,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。